

平成15年度「世界エイズデー」キャンペーンの実施について

12月1日は「世界エイズデー」です。毎年、この日を中心とした様々なエイズ予防キャンペーンが世界的に実施されております。

UNAIDS（国連合同エイズ計画）の推測によると、2002年末現在の全世界におけるHIV感染者は4200万人で、そのうちアジア・太平洋地域の感染者が約20%を占めるといわれています。さらに今後、国際社会が世界規模での予防対策をとらなければ、2002年から2010年の間に新たに4500万人がHIVに感染し、その40%以上がアジア・太平洋地域で発生するだろうと考えられております。

こうした予測がなされる一方で、わが国におけるHIV感染も相変わらず増加傾向にあります。特に、平成14年の新規HIV感染者の約98%までもが性的接触によるもの（※感染経路が不明なものを除く）（エイズ発生動向委員会より）である事実が示すとおり、性感染症対策との連携のもとに正しい知識の啓発に努め、「コンドームの適正な使用」など個人個人の実際の行動に結び付けていくことが何より重要であることはいうまでもありません。加えて、今まさにその意志決定能力の形成過程にある青少年において、「性の低年齢化」「人口妊娠中絶の件数やクラミジア等罹患率の急上昇」など“HIV感染が流行する環境ができつつある”現状を危機的な状況として直視し、これまでのような一般的な予防知識の啓発にとどまらない、青少年及び青少年を取り巻く世代に具体的なメッセージを直接届け、HIV感染を「自らの問題」としてとらえてもらうきっかけとなるような取組みを積極的に進めなければならないと考えております。

そこで、厚生労働省と財団法人エイズ予防財団では、様々なアプローチにより、出来る限り多くの方へメッセージを発信するため、**タレントの飯島愛さんを迎えてのトークショー**をはじめとしたキャンペーンを展開することといたしましたのでお知らせします。

なお、11月30日の「世界エイズデー」イベント（街頭キャンペーン）につきまして、当日の取材を希望される場合は上記担当までご一報願います。

◆「世界エイズデー」イベント(街頭キャンペーン)の実施 ◆

(街頭キャンペーン全体の詳細は別紙1のとおり)

1 日時

平成15年11月30日(日) 14:00~18:00

主な対象たる若い世代の人出が、相当数予想される休日を実施日として設定する。

2 場所

新宿(JR新宿駅東口、小田急新宿駅西口地下コンコース)

現在報告されているHIV感染者の約4割が住む東京、特に青少年をはじめとした様々な世代が集まる新宿において実施する。

3 実施形態

(1) 主催 厚生労働省・財団法人エイズ予防財団

(2) 共催 新宿区

(3) 後援 文部科学省(予定)

(4) 協力 ぶれいす東京、RAINBOW RING(いずれもNGO)、

日本 Condom 工業会、LEVI'S、ザ・ボディショップ、MTVジャパン、Girlsguard、
(株)伊勢丹、(株)小田急百貨店、(株)京王百貨店、(株)新宿ステーションビル、
(株)三越新宿店、(株)ルミネ新宿店、(以上、順不同)

4 トークショーの開催

(1) 場所

特設ステージ(JR新宿駅東口ステーションスクエア)

(2) 出演

○ 飯島愛さん(タレント)

○ 岩室紳也氏(医師、(社)地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター長)
集客力を持ち、かつエイズを含めた性感染症の予防について説得力あるメッセージを発信できるタレントとして、**飯島愛さん**をメインゲストに迎える。

TV・雑誌等でご活躍のかたわら、自伝的小説「プラトニック・セックス」やエッセイ集「生病検査薬≡性病検査薬」などの著作活動も行われている飯島さんと、ご自身の講演活動等を通じて「コンドームの達人」の異名をとる岩室紳也氏との“本音によるトークバトル”を行う。

5 関係機関等との連携

(1) 以下の関係機関等と幅広く連携

ア. 学校教育の面からエイズ対策に取り組む文部科学省

イ. 地域における普及啓発や検査相談事業の中核としての役割を果たす自治体
(=新宿区保健所)

ウ. 青少年・同性愛者などといった個別施策層へのアプローチに関して多くの事例や手法を持つNGO
(=ぶれいす東京、RAINBOW RING)

エ. 独自のイメージ戦略で多様な活動を展開する民間企業
(=LEVI'S、ザ・ボディショップ、MTVジャパン、Girlsguard)

(2) 具体的には次のような取組みを行う。(周辺図については別紙2を参照)

ア. ブース出展(JR新宿駅東口前)

① 「おしゃべりコーナー」設置、パネルやパンフレットの展示

ぶれいす東京

* 「おしゃべりコーナー」

ステージを見て、「もう少し情報を知りたい」と思った方が気軽にテントを訪れて話ができるように「おしゃべりコーナー」を設ける。ぶれいす東京の担当スタッフが対応。

② 予防啓発グッズの配布、啓発パネルの掲示

新宿区…クリアチーボス(NGO)協力のもと

③ リーフレット配布

文部科学省、

④ 予防啓発グッズやポスターの掲出

リーバイス、ボディショップ、MTV

イ. 特設ステージにおける企画(ぶれいす東京、別紙1を参照)

① Safer Sex Show

コミュニティ・アーティスト達によるパワフルかつユーモラスなパフォーマンスを通した予防啓発

② ビジュアルメッセージ: CONDOMing!!

海外の映画やドラマに登場しているコンドームシーンや台詞を集約した映像を放映

ウ. 普及啓発用コンドームやリーフレットの配布

① RAINBOW RING(「デリヘルボーイ」)による配布

* 「デリヘルボーイ」(DELIVERY HEALTH BOY)

“健康を配達する”の意味。新宿二丁目のバー、ハッテン場やクラブパーティなどにコンドームや啓発用ポスターなどを配達するため、RAINBOW RINGの呼びかけで結成。

② ボランティアによる配布

LEVI'S、ザ・ボディショップ、MTVジャパン、Girlsguard

(3) 各機関が個々に実施するイベント等

「キャンペーンの一環」として位置付け、協力を行う。

(関連イベント等の内容については別紙3のとおり)

6 その他

新宿駅周辺を通行する一般の方に対して、視覚的にも「エイズ予防」を訴えることができるような取組みを行う。

(1) アルタビジョンの活用

ア. ステージプログラムの中継

エンディング10分間（レッドリボン点灯式、出演者コメントなど）

イ. スポット啓発CMの放映

平成15年11月23日（日）～12月7日（日）、30秒×13回/日

(2) 懸垂幕やポスターの掲出

ア. 「世界エイズデー」懸垂幕の掲出

伊勢丹、小田急百貨店、京王百貨店、新宿ステーションビル、三越新宿店、ルミネ新宿店

イ. 「世界エイズデー」ポスターの掲出

新宿区内の協力商店街

(3) レッドリボンによるアピール

ア. レッドリボン点灯式

イ. レッドリボン・ポスターの掲出

JR山手線車内の窓上広告（11/28～12/2）

ウ. レッドリボン・カー（電気自動車）の運行

会場周辺を周回

エ. レッドリボン風船の配布

普及啓発用 Condom やリーフレットとあわせて配布

◆ その他キャンペーンの実施 ◆

例年行っているポスターやリーフレットの作成に加えて、多種多様な媒体を活用した“メディアミックス”の手法を採用するなど、国民の啓発広報への接触機会を出来る限り増やし、幅広くメッセージが届くよう努める。

1 ポスターコンクール

(1) 内容

青少年に対する普及啓発を目的として、「世界エイズデー」ポスターのデザインを公募するもの。これまでの対象である全国の小・中・高校生に加え、今年度から新たに「一般の部」を設置し、特に高校生及び一般については、「自らの問題」として考えてもらうため「自由テーマ」の枠を設定した。

(2) 応募数（計 1,136 点）

小学生 257 点、中学生 575 点、高校生 257 点、一般 47 点

(3) 結果

各部門ごとに最優秀賞 1 点、優秀賞 2 点、佳作 3 点を決定（有識者の審査による）うち、「中学生の部」における最優秀賞作品が今年度のポスターとして採用された。

(4) 表彰式

11月30日に新宿で行われる街頭キャンペーンにおいて、各部門最優秀賞受賞者の表彰式を行う。（プレゼンターは飯島愛：敬称略）。

2 青少年向けリーフレットの作成

「 Condom ケース」も兼ねたリーフレットを新たに作成した。

（別紙4「リーフレット」（写）と「 Condom パッケージ」（写）を参照）

このリーフレットは11月30日に新宿で行われる街頭キャンペーンにおいて、普及啓発用 Condom といっしょに約15,000部を配布する。

なお、配布する Condom は日本 Condom 工業会から提供されたものである。

3 FM特別番組「think about AIDS 2003」の放送

(1) 放送日

平成15年「世界エイズデー」（12/1）の前後（1時間番組）

(2) 放送局

全国のコミュニティFM放送局（150局）

(3) 制作

財団法人エイズ予防財団

(4) 協力

全国コミュニティエフエム協議会

(5) 出演（敬称略）

MEGUMI(タレント)、家田荘子(作家)、池上千寿子(NGO「ぷれいす東京」代表)

(6) 趣旨

現在のエイズ発生動向や感染経路をふまえ、若者の性行動や予防、検査の重要性などエイズに関する正しい知識について、若者に人気の高いタレントと専門家のトークによって分かりやすく解説するもの。

4 映画館におけるスポット啓発CMの放映

(1) 日程

平成15年11月～12月

(2) 場所

全国385の映画館

(3) 内容

「どんな人がH I Vに感染するのか?」「H I V感染予防法は?」といった質問に対する若者の生の回答を紹介しながら、「正しい知識」を伝えていくもの。

(4) 協力

MTVジャパン

5 政府広報番組「グッドモーニングジャパン」の放送

(1) 放送日

平成15年11月30日 午前8:30～9:00

(2) 放送局

TBSラジオ

(3) 制作

内閣府

(4) 出演（敬称略）

東ちづる（タレント、番組パーソナリティ）

岩室紳也（医師、（社）地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター長）

飯島愛（タレント、コメントのみの出演）

(5) 趣旨

「世界エイズデー」をきっかけとして、感染者数が引き続き増加している状況と、現在の若者の意識についてもう一度考え、あわせて当日の午後に新宿で行われる街頭キャンペーンの告知を行う。

6 J R車内広告

(1) 山の手線窓上広告

平成15年11月28日（金）～12月2日（火）

(2) 大阪環状線中吊り広告

平成15年11月26日（水）～12月1日（月）

7 シンポジウム「危険を知らない若者たち～若者の性行動とエイズ～」

(1) 日時

平成15年12月13日（土）14:00～18:00（開場13:30）

(2) 場所

住友ホール（新宿区）

(3) 主催

財団法人エイズ予防財団

(4) 協力（予定）

グラクソ・スミスクライン(株)、中外製薬(株)、日本ベーリンガーインゲルハイム(株)、
萬有製薬(株)、ファイザー製薬(株)、プリストル製薬(株) ほか（順不同）

(5) 趣旨

社会環境の変化や若者の性意識・性行動の変化に伴い、エイズをはじめとした性感
染症に感染するケースが増加しつづけている。そこで若者だけでなく父兄や教師を
ターゲットとして、それぞれの立場から性の現状やエイズについて積極的にディス
カッションし、これらの問題を「自分自身」の問題として考えるとともに、エイズ
予防の実行の契機とするものである。

(6) プログラム（いずれも敬称略、順不同）

ア. 講演①「エイズはこうすれば防げる！ ～正しいエイズ予防法伝授します～」

岩室 紳也（(社)地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター長）

イ. 対談「エイズ治療薬のシンポと薬剤耐性ウイルス」

満屋裕明（熊本大学医学部教授）

V. S. 杉浦 亙（国立感染症研究所エイズ研究センター第2研究グループ長）

ウ 講演②「そんなに若者が悪いのか！？ ～若者の性の現状と課題～」

宮台 真司（東京都立大学助教授）

エ ディスカッション「若者をエイズから守るには」

パネリストおよび参加者を含めたディスカッション

《コーディネーター》

○ 小坂善治郎（宇都宮短期大学人間福祉学科教授）

《パネリスト》

○ 水野 肇（医事評論家）

○ 杉浦 亙（国立感染症研究所エイズ研究センター第2研究グループ長）

○ 岩室 紳也（(社)地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター長）

○ 宮台 真司（東京都立大学助教授）

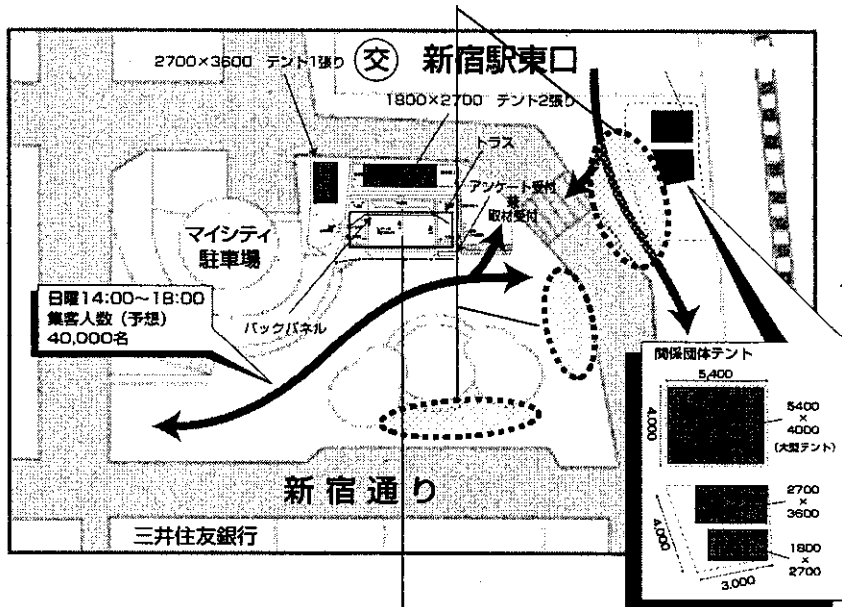
「世界エイズデー」街頭キャンペーンの概観

～11/29	☆関係NGOによるイベントの開催 ☆関係機関等におけるポスター掲示		☆映画館・アルタビジョンにおけるスポットCMの放映(12/1前後2週間程度) ☆プレスへの情報提供			
11/30 時間	ステージ(ステーション・スクエア)		アルタ・ビジョン	ブース	リーフレット配布等	その他(周辺)
10:00	(準備)		☆スポットCM上映 (30秒×13回/日)	(ブース準備)	(配布準備)	
	事 項	出演(敬称略)				
14:00 }	オープニング・主催者あいさつ	島尾忠男				
14:10 }	トークショー①(30分)	飯島愛・岩室紳也				
14:40	(ステージ準備)					
14:50 }	ポスターコンクール表彰式	飯島愛・島尾忠男				
15:00	(ステージ準備)					
15:10 }	トークショー②(20分)	飯島愛・岩室紳也				
15:30	(ステージ準備)					
15:40 }	Safer Sex Show(30分)	ぶれいす東京				
16:10	(ステージ準備)					
16:20 }	トークショー③(35分)	飯島愛・岩室紳也				
16:55	(ステージ準備)					
17:05 }	ビジュアルメッセージ: CONDOMing!! (30分)	(ぶれいす東京)				
17:35	(ステージ準備・中継準備)※15分					
17:50 }	レッドリボン点灯式 ～エンディング	飯島愛・岩室紳也・ 池上千寿子・島尾忠男	☆中継			
18:00						
12/1～	☆関係機関等におけるポスター掲示		【☆プレスを通じての露出→普及啓発】			

街頭キャンペーン周辺図

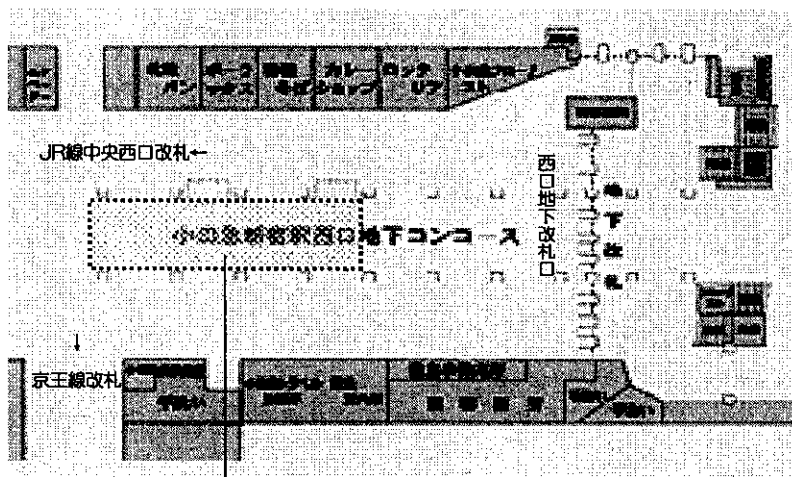
《JR新宿駅東口周辺》

コンドーム等配布エリア



ステーションスクエア特設ステージ

《小田急新宿駅西口地下コンコース》



コンドーム等配布エリア

関連イベント等一覧

1 チャリティコンサート「Act Against AIDS 2003 MUSIC PLAZA IN ORCHARD」

(1) 日時

平成15年12月1日(月) 19:00開演

(2) 場所

Bunkamuraオーチャードホール(約2,000名収容)

(3) 主催

Bunkamura、TBSラジオ

(4) 共催

財団法人エイズ予防財団

(5) 後援

Act Against AIDS運営事務局

(6) 出演

森山良子・夏川りみ ほか

2 「平成15年度世界エイズデーシンポジウム」

(1) 日時

平成15年11月28日(金) 9:45から

(2) 場所

国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟大ホール

(3) 主催及び共催

文部科学省、財団法人日本学校保健会、財団法人日本性教育協会

(4) 後援

厚生労働省、財団法人エイズ予防財団 ほか

(5) 内容

「エイズを予防するための効果的な教育について」をテーマに講演・シンポジウムを開催し、エイズ教育の推進について理解を促すことを目的とする。

3 「VOICE03」

(1) 日時

平成15年11月29日(土) 18:00~21:00(開場17:30)

(2) 場所

四谷区民ホール

(3) 主催

ぶれいす東京 Gay Friends for AIDS

(4) 後援

エイズ予防財団

(5) 内容

ゲイの間でのHIV感染が深刻さを増す中、観客・出演者・スタッフが同じ空間を共有し、楽しむ、発表会スタイルのイベントを通して、1人でも多くのゲイにHIV/AIDSについて考えるきっかけづくりを目指してきたもの。7回目を迎える今年は「anniversary～それぞれの記念日～」をテーマに行う。

4 「セイファーセックス・キャンペーン2003」

(1) 概要

キャンペーン期間中、NGOによるアウトリーチ（*コミュニティ・街頭への直接的な啓発活動）を重点的に行うもの。

(2) 都内におけるキャンペーン

① 期間

平成15年11月25日（火）～12月24日（水）

② 内容

都内のイベントにおいて、オリジナルコンドーム等の啓発資材を配布する。
(RAINBOW RING)

(3) 横浜におけるキャンペーン

① 期間

平成15年12月12日（金）～14日（日）

② 内容

横浜での男性同性間のHIV感染予防キャンペーン（11/7～）の一環として「Safer Sex トークイベント」や「My First Safer Sex 写真展」を開催する。

（横浜 Cruise ネットワーク、実施済）